

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：令和6年3月29日

事業所名：障害児通所支援 INGENU

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動スペースを確保するために、テーブルなどの配置も含めて、広さを確保できる配置を検討して努めている。	はい：24 どちらともいえない：1 いいえ：0 わからない：1	モニタリング、保護者会の際に、毎年施設を見てもらい、しっかりスペースが確保されているかどうかを見ていただく。来られない方もいるため、説明を行っていく。
	2 職員の適切な配置	必要な職員は配置されており、専門的職員についても公認心理士やセラピストを配置している。	はい：20 どちらともいえない：3 いいえ：0 わからない：3	新規の利用児童の保護者には伝えきれていないことがあるため、モニタリングや夏祭り等のイベントの際に職員の紹介を定期的に行う。また、新しいスタッフが入った時には、広報誌にて紹介する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	設備整備は、その日の利用児童の状況に合わせて行っている。 視覚情報は壁に張るなどして、特性に応じて配慮している。	はい：21 どちらともいえない：2 いいえ：1 わからない：2	今後も本人の特性に合わせて、設備整備は行っていく。モニタリングなどで、保護者からの要望に応えられるように職員間で共有して行っていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	消毒等の感染対策を徹底している。体調がすぐれない児童がいると、個人で過ごせる場所を確保したうえで、他児童同士が十分距離を保って活動を行うことができる。	はい：22 どちらともいえない：3 いいえ：0 わからない：1	今後も安心して心地よく過ごせるような生活空間の確保を目指す。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	さらにスタッフの人数が増えたため、組織としての役割を一人ひとりが認識して行動できるよう、面談を定期的に行っている。		スタッフが個人の目標設定に向かって考えながら行動し、より良い施設になっていけるよう今後も目指していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施できていない		今後第三者の介入を必要に応じ検討する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回程度、専門性のあるスタッフが、その他のスタッフに向け知識や技術を共有し、資質の向上を行うための研修を行う機会を作った。		今後もスタッフ一人ひとりの資質を向上していけるよう積極的な研修への参加を促し、機会を確保していく。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	利用前のアセスメント、定期的なモニタリングや会議によって児童、保護者のニーズや課題をしっかりと分析したうえで支援計画を作成している。		今後も適切なアセスメントやモニタリングの実施を心掛け、客観的に課題を分析し、療育を行っていくよう目指して行く。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	専門職員中心にプログラム活動を考えることで、個別や全体での活動の幅が広がり、計画の作成に盛り込むことができた。	大半の保護者が「はい」との回答だが、「どちらともいえない」や「わからない」との回答もあった	医療的ケアが必要な児童が増えたため、より障害や介助量を考慮した放課後等デイサービス計画を作成していけるよう努める。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	弊所の特性上、利用児童によって必要な支援の項目が大きく変わるため、児童についての会議を十分に行ったうえで計画書を作成し、支援内容を記載している。		計画書に記載する内容を、より具体的に、児童・保護者にとってわかりやすく記載できるよう務める。
適切な支援の提供（続き）	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に挙げられた課題やニーズに沿って、改善に必要なプログラム、リハなど適切な支援を実施できるよう努めている。	はい：25 どちらともいえない：1 いいえ：0 わからない：0	今年度も保護者からの評価が良好であるため、継続して計画に沿った適切な支援を実施していけるよう目指していく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	専門職員を中心に、全体で活動プログラムを立案していけるよう会議や話し合う機会を増やし、その後、役割を分けることでスムーズに進められるように努めた。	大半の保護者が「はい」との回答だが、「どちらとのいえない」や「わからない」との回答もあった	今後も職員全体でのプログラムを立案していけるよう、会議や職員同士の意見交換を増やしていく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	児童によって、利用時間に違いはあるが、一日のスケジュールをある程度決めることで、落ち付いて過ごせる工夫を行っている。また、前もって職員間でその日利用する児童に合わせたプログラムを決めるよう努めた。		継続して、利用する時間や利用人数に応じ、臨機応変に活動内容を前もって決めたり、状況に応じたきめ細やかな支援を実施できるよう目指していく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	専門職員中心にプログラム活動を考えることで、個別や全体での活動の幅が広がっている。		今後も活動プログラムが固定化しないよう、会議等で、プログラムの見直しを適宜実施していきながら工夫していく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に、ホワイトボードにその日の利用時等、プログラムやおやつ介助を行うスタッフの役割分担を記載しており、いつでもすぐに確認できるよう徹底している。		継続して支援開始前に活動プログラムや役割の確認を徹底し、利用児童に変更があった時にもすぐに対応できるよう努める。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に児童の様子や送迎時に保護者から聴取した内容を職員間で話し合ったり、連絡ノートやグループLINEに記載し、休みのスタッフも情報が共有できるようにしている。		継続して支援終了後の連絡ノートやグループLINEによる情報交換を行い、気になった点については後日会議等で話し合っ改善を目指していく。
10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	連絡帳にリハの記載欄を増やし、行った内容が保護者にわかりやすく見てもらえるようになった。医療的ケアを行う際は看護記録に正確な記録を残している。		連絡帳にわかりやすく具体的な記録を書くよう徹底し、内容の確認、評価を行う。また、気になった点については後日会議等で話し合っ改善を目指していく。	

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し		継続して具体的でわかりやすい内容を記載できるよう努める。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画		継続して相談支援事業所への利用を促し、担当者会議等に積極的に参加していく。
	2	<b>（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	毎週嘱託医に来ていただいております。担当医からのてんかんや熱発等、急変時に対する対応等を緊急連絡帳やアセスメントに記載いただくことでいつでも対応できるように努めています。	学校や保護者から変化があればすぐに連絡いただいております。今後も関係機関と連携した支援を実施し、安心して利用していただけるよう努めていく。
	3	<b>（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケアが必要な子どもに対して、看護師が保護者、医師に詳細を確認後、医療的ケアを実施している。	保護者から緊急連絡カードに主治医を記載いただいたり、急変時の対応方法を教えていただいているため、今後も看護師の指導の下、対応を徹底していく。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	今年度も他の児童発達支援事業所からの移行支援はみられなかった。	今後、移行依頼や弊所からの移行がある際は、学校からの情報や事業所の支援内容を十分に聴取し、円滑に移行支援を行っていただけるよう目指して行く。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	今年度も弊所からの卒業生がおられ、卒業後の進路先である生活介護事業所に、スタッフも一緒に行って保護者や生活介護事業所のスタッフと情報提供や打ち合わせを行った。	弊社の生活介護事業所への移行のため、保護者も比較的安心していただいている。今後も安心して進路先に進んでいただけるよう情報提供を徹底していく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	今年度は研修には参加できなかった。支援センターとは、利用が重複している児童についての情報交換を適宜行っている。	来年度は外部の施設から紹介される研修等を積極的に受講していく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	移転後、月日がたっていないのと、新型コロナウイルスの影響もあり、中止している。	はい：2    どちらともいえない：5    いいえ：4 わからない：15

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	新型コロナウイルスの影響もあり、中止している。	チェック項目に記載されていないため、回答なし	地域住民の方々を招待できるイベントの企画や、地域でのイベントに参加していただけるよう目指していく。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に支援内容や利用負担等について詳しく説明しており、支援計画を変更する時や受給者証更新時自己負担額に変更があった場合はその際に説明している。	はい：25 どちらともいえない：1 いいえ：0 わからない：0	評価は良好であるため、継続して丁寧な説明を心がけていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画書を作成し、保護者に支援内容を説明して納得いただいてから署名、捺印をいただいている。	はい：25 どちらともいえない：1 いいえ：0 わからない：0	評価は良好であるため、継続して丁寧な説明を心がけていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在はまだ実施できていない。	はい：10 どちらともいえない：5 いいえ：4 わからない：7	来年度は、保護者会の際に、ペアレントトレーニングが必要な保護者に支援を実施していく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	モニタリング時だけではなく、送迎時等、普段から保護者としっかり話し合い、児童の状況を把握できるよう徹底している。	はい：23 どちらともいえない：3 いいえ：0 わからない：0	「どちらともいえない」の評価があるため、送迎時などに状況の説明を徹底し、理解していただけるよう努めていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者から、利用児童だけでなく保護者自身や児童の兄弟の悩み等についても、状況に合わせて助言や相談を行っている。また、必要に応じて、相談支援事業所等に繋げている。	はい：16 どちらともいえない：7 いいえ：2 わからない：1	「はい」が少ないため、保護者が相談したいことを聞き取り切れていない可能性があるため、送球に相談しやすい環境を作り、適切な対応や助言ができるよう目指して行く。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	施設全体で夏祭りを開催し、保護者を招待するとともに保護者同士の交流、連携を支援した。	はい：8 どちらともいえない：5 いいえ：4 わからない：9	「はい」の評価が少なく、「求めている」等の意見もあった。来年度は夏祭りだけではなく、保護者のみの保護者会を開催し、保護者同士が話し合える機会を作っていく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合は、すぐに会議を開き、苦情対応マニュアルに沿って迅速に対応している。	はい：18 どちらともいえない：2 いいえ：0 わからない：6	継続して苦情に対する対応が適切にできるように体制の整備に努める。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用児童の障害によって、サインやジェスチャーでの意思疎通や情報伝達を行う等の工夫をしている。	はい：21 どちらともいえない：1 いいえ：0 わからない：4	評価は良好であるため、今後も個々の利用児童または保護者の障害について十分配慮しながら意思の疎通を行っていく。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	学期毎に広報誌の発行を始め、施設内の出来事や状況を紹介している、行事予定がわかりやすくなるよう、年間のスケジュールカレンダーを配布した。	はい：19 どちらともいえない：3 いいえ：1 わからない：3	ホームページの頻繁な更新を目指す。継続して広報誌を発行していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に、個人情報保護に関する書類を説明した上で、署名・捺印をいただいている	はい：19 どちらともいえない：3 いいえ：1 わからない：3	保護者の評価から、伝えきれていない方もいるとわかったため、継続して個人情報の取り扱いについて十分に説明し、注意していく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応、災害、感染症についてマニュアルを作成しており、毎年研修に参加後、職員全員に勉強会を実施し研修記録を残している。	はい：16 どちらともいえない：4 いいえ：1 わからない：5	マニュアルは作成しているが、まだ知らない保護者もいるため、周知徹底をはかる。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練を年2回以上実施しており、消防署から水の入った消火器を借りて、消火訓練を行った。	はい：13 どちらともいえない：4 いいえ：0 わからない：9	継続して年2回以上の訓練を実施していく。避難訓練を行っていない児童もいるため、出来る限り多くの児童に訓練を実施していけるようめざしていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	毎年、神戸市の虐待防止の研修に参加した後、その内容をスタッフ全員に研修し、伝達を行っている。		来年度は、年2回以上の虐待防止研修を徹底し、知識を再確認したり、新しい知識を共有する。新しいスタッフが入ったらすぐに研修を行っていく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は行っていない		今後も身体拘束を行う予定はないが、もしもやむを得ない場合があった場合は、十分に保護者の理解を得てから行うよう徹底する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーを持つ児童がいるため、おやつや食事には十分注意して見守り、介助をおこなっている。もしもの時に備えて弊所に緊急補助治療薬を持参していただいている。		現在は、緊急補助治療薬を使用したことはないが、今後も定期的アレルギー反応が生じた際の対応方法の研修を行い、対応を再確認、徹底していく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書の量が大幅に増え、事故が起きる前に会議等で注意することができるようになってきた。 些細なことでもヒヤリハット報告書を記載するようスタッフに周知している		今後もヒヤリハット事例を増やし、アクシデントが起こる前に未然に防げるよう常に会議などで事例検討を実施する。